

6. MIT-461 水溶剤（石原産業申請）
；継続

本剤は新規化合物で、さとうきびの収量増加をねらい効果の検討が申請された。試験は鹿児島農試徳之島糖業支場で行なわれている。収量調査は昭和47年1～3月に行なわれるのでその結果をまっけて判定される。生育の途中では本剤処理区でややすぐれた傾向を示している。また、収穫後の株出しに処理し、活着の促進効果について検討することも考えられている。

7. MIT-461 水溶剤（石原産業申請）
；継続

本剤は、6と同一物質である。ソルガムの収量増加についての検討が申請され、広島県農試

で試験が行なわれた。出穂前26日に茎葉に散布することにより、収量は増加する。とくに発根を促進し、生育を促進するので有望であるが、さらに年次を重ねて検討する必要ありと判定された。

8. ミリオポール（保土谷化学申請）；継続

本剤は、土壤水分蒸散防止効果および初期伸長の促進効果について申請され、植調研において、陸稲・山東菜・メヒシバを用いて試験された。本年は試験の時期が遅れたため、明瞭な差異がみられなかった。しかし、生育量でわずかに処理区でまさる傾向を示したので、播種時期を早めて検討してみることとした。

昭和46年度畑作関係除草剤

試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

当協会委託の昭和46年度畑作用除草剤の試験成績検討会が、昭和46年12月15～17日の3日間、東京において開催されたので、ここにその結果の概要を紹介する。

昭和46年度に供試された畑作用除草剤の種類を作物別にみると、第2表の通りであるが、これを試験年次別にその供試薬剤数の変動の推移をみると、第1表の通りとなる。

次に試験結果の概要を判定基準によってみると、第3表の通りとなる。実用化に移されたものは10薬剤、マルチ用2薬剤、転換畑用1薬剤、実用化とともにさらに1部を継続に移されたものは9薬剤、マルチ用2薬剤、転換畑用5薬剤である。

これら実用化薬剤の使用基準は、第4表に示す通りである。

<第1表> 畑作用除草剤試験の推移

	供 試 薬 剤 数						
	昭和40年度	昭和41年度	昭和42年度	昭和43年度	昭和44年度	昭和45年度	昭和46年度
A 除 草 剤							
畑作物一般	12	12	6	9	7	11	5
陸 稲	12	14	10	11	9	9	5
麦 類	4	4	2	4	4	2	—
とうもろこし	7	4	3	4	6	8	13
甘 藷	4	9	3	5	4	5	3
馬 鈴 薯	0	1	0	3	4	8	11
さとうきび	2	1	1	0	0	1	2
大 豆	11	10	3	4	14	8	12
小 豆	2	4	3	1	7	5	6
菜 豆	1	1	3	5	6	8	9
落 花 生	6	5	7	4	12	9	12
てんさい	4	4	9	5	6	6	6
その他	1	2	3	1	3	1	7
B マルチ除草剤							
稲	—	—	—	12	4	5	—
早 堀 甘 藷	—	—	—	—	1	2	2
とうもろこし	—	—	—	1	2	2	—
落 花 生	—	—	—	—	1	2	3
その他	—	—	—	1	2	6	2
C 転換畑用除草剤	—	—	—	—	—	—	6
合 計	66	71	53	63	92	98	104

<第2表> 昭和46年度畑作関係供試除草剤成分一覧表

A 除 草 剤

対象作物	薬剤名	剤 型	有効成分名および含有率	委託会社
1) 畑作物一般	H-51L	乳 剤	MCP 40% フルレノールブチルエステル 10%	協和酸酵
	R-7465	水和剤	2(α-ナフトキン)N, Nジエチルプロ ピオンアמיד 50%	トーメン ストウファ
	HW-24	乳 剤	ジフェニルエーテル系 25%	保土谷化学
	NH-6967	乳 剤	2,4ジクロロフェニルピリジニルカーボキ シレート(フェノピレート) 20%	日本農薬
	NC-24	水和剤	非 公 開 90%	日本カーバイド
2) 陸 稲	NK-15266	乳 剤	2-クロル-4-メチルスルビニル-4- ニトロジフェニルエーテル 20%	日本化薬
	NK-14636	水和剤	非 公 開 50%	同 上

対象作物	薬剤名	剤 型	有効成分名および含有率	委託会社
2) 陸 稲 (つづき)	X - 5 2	水和剤	2,4-ジクロロフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフェニルエーテル 40%	X-52協議会 (石原産業)
	G - 3 1 5	水和剤	5-ターシャリブチル-3-(2,4-ジクロロ-5-イソプロピルオキシフェニル)-1,3,4-オキサジアゾール2-オン 50%	日 産 化 学
	B3015・ プロメトリン	乳 剤	S-(4-クロロベンジル)N,N-ジエチルチオールカーバメイト (ベンチオカーブ) 50% 2-メチルチオ-4,6-ビスイソプロピルアミノ-S-トリアジン(プロメトリン) 5%	クミアイ化学 日 本 化 薬
3) とうもろこし	NTN7170	水和剤	非 公 開 70%	日本特殊農薬
	B-3015・A	乳 剤	ベンチオカーブ 40% B-6098(新規) 20%	クミアイ化学
	B3015・ リニュロン	乳 剤	ベンチオカーブ 50% リニュロン 5%	同 上
	VCS-438	水和剤	2-(3,4-ジクロロフェニル)-4-メチル-1,2,4-オキサジアゾリジン3-5-デイオン 75%	日 本 曹 達
	WL19805	水和剤	トリアジン系 50%	シエル化学
	E P T C	粒 剤	エチル-ジノルマルプロピルチオールカーバメイト 5%	北 海 三 共
	NK-15266	乳 剤	(陸稲の項参照) 20%	日 本 化 薬
	NK-14636	水和剤	非 公 開 50%	同 上
	S LD-695	水和剤	C I - I P C 17.5% リニュロン 7.5%	石 原 産 業
	K H - 1 6 6	微粒剤	2,4-ジニトロ-6-ターシャリブチルフェニルメタンスルホネート 7%	兼 商
	Cyprozine (S-6115)	乳 剤	2-クロロ-4-シクロプロピルアミノ-1,3,5-トリアジン 12.8%	東 陽 通 商
	Cypramid	乳 剤	3,4'-ジクロロシクロプロパンカーボキシアニライド 20%	サイプロミッド普及会 〔東陽通商〕 〔日本曹達〕
	C N P	乳 剤	2,4,6-トリクロロフェニル-4'-ニトロフェニルエーテル 20%	三井東圧化学
4) 甘 藷	R - 7 4 6 5	水和剤	(畑作一般の項参照) 50%	ト ー メ ン ス ト ウ フ ア ー
	X - 5 2	水和剤	(陸稲の項参照) 40%	X-52協議会 (石原産業)
	MB-206	粒 剤	尿素系 1.5%	丸 和 物 産
5) 馬 鈴 薯	R - 7 4 6 5	水和剤	(畑作一般の項参照) 50%	ト ー メ ン ス ト ウ フ ア ー
	NTN7170	水和剤	非 公 開 70%	日本特殊農薬
	VCS-438	水和剤	(とうもろこしの項参照) 75%	日 本 曹 達
	WL19805	水和剤	トリアジン 50%	シエル化学
	ア メ ト リ ン	乳 剤	2-メチルチオ-4-エチルアミノ-6-イソプロピルアミノ-S-トリアジン 25%	日 本 化 薬
	S LD-695	水和剤	C I - I P C 17.5% リニュロン 7.5%	石 原 産 業

対象作物	薬剤名	剤型	有効成分名および含有率	委託会社
5) 馬鈴薯 (つづき)	M C C	水和剤	メチル-N-(3,4-ジクロロフェニル) カーバメート 4.0%	スエップ普及会 (日産, 日農, 北興)
	M C C	粒剤	同上 1.5%	同上
	I P C・M C P	水和剤	C I-I P C 3.0% M C P 1.6%	石原産業
	M C P・デシコーン	混用	M C P水溶 7.0% デシコーン水溶 8.8%	同上
	P C P・リニユロン	水和剤	P C P 7.3% リニユロン 5%	日本カーバイド
6) てんさい	アミプロホス (NTN5006)	乳剤	O-エチル O-(2-ニトロ-4-メチ ルフエニル) N-イソプロピルチオノフォ スホロアミデート 5.0%	日本特殊農薬
	S L D-695	水和剤	C I-I P C 17.5% リニユロン 7.5%	石原産業
	I P C・ アラクロール	混用	C I-I P C乳 45.8% アラクロール乳 4.3%	ラッソー普及会 (三菱モンサント)
	A S U L A M	液剤	メチル-4-アミノベンゼンスルホニルカ ーバメイト (Na) 3.7%	塩野義製薬
	レナシル	水和剤	3-シクロヘキシル-5,6-トリメチレン ウラシル 8.0%	デュボン フアーイースト
	レナシル・PAC	水和剤	レナシル } PAC 7.0%	丸和物産
7) 落花生	R-7465	水和剤	(畑作一般の項参照) 5.0%	トーマン ストウファー
	B-3356	乳剤	カーバメイト系 5.0%	クミアイ化学
	NK-15266	乳剤	(陸稲の項参照) 2.0%	日本化薬
	NK-14636	水和剤	(陸稲の項参照) 5.0%	同上
	W L I 9805	水和剤	トリアジン系 5.0%	シエル化学
	アミプロホス	乳剤	(てんさいの項参照) 5.0%	日本特殊農薬
	X-52	水和剤	(陸稲の項参照) 4.0%	X-52協議会
	G-315	水和剤	(同上) 5.0%	日産化学
	Prynachlor (H2901)	乳剤	クロル酢酸-N-ブチン-1-イル-3- アニリド 5.0%	北興化学 武田薬品
	C-6313	水和剤	N-(4-ブロモ-3-クロロフェニル) -N'-メトキシ-N'-メチルウレア 5.0%	チバ製品
	C-6989	乳剤	2,4'-ジニトロ-4-トリフルオロメチル ジフェニルエーテル 3.0%	同上
	M B-206	粒剤	尿素系 1.5%	丸和物産
8) 豆類	H W-247	乳剤	ジフェニルエーテル系 2.5%	保土谷化学
	N T N 7170	水和剤	非公開 7.0%	日本特殊農薬
	アミプロホス (NTN5006)	乳剤	(てんさいの項参照) 5.0%	同上
	B-3015	乳剤	ベンチオカーブ 4.0% B-6098(新規) 2.0%	クミアイ化学
	B 3015 リニユロン	乳剤	ベンチオカーブ 5.0% リニユロン 5%	同上
	M K-616	水和剤	非公開 5.0%	三菱化学
	バラコート	液剤	1,1-ジメチル-4,4'-ビピリジウムジ ロリド 2.4%	日本農薬 武田薬品

対象作物	薬剤名	剤型	有効成分名および含有率		委託会社
8)-1. 大豆	NK-616	水和剤	非公開	50%	三菱化成
	B-3356	乳剤	カーバメイト系	50%	クミアイ化学
	NK-15266	乳剤	(陸稲の項参照)	20%	日本化薬
	NK-14636	水和剤	(陸稲の項参照)	50%	同上
	SLD-695	水和剤	CI-IPC リニユロン	17.5% 7.5%	石原産業
	B3015・ プロメトリン	乳剤	ベンチオカーブ プロメトリン	50% 5%	クミアイ化学 日本化薬
	C-6313	水和剤	(落花生の項参照)	50%	チバ製品
	C-6989	乳剤	(同上)	30%	同上
	TOP-25	乳剤	NIP DNBPA: 2,4-ジニトロオルソセカン ダリーブチルフェノールトリエタノールア ミン	25% 12%	三洋貿易 東京有機化学
	Cyprozine (S-6115)	乳剤 水和剤	(とうもろこしの項参照)	12.8%	東陽通商
	PCP・リニユロン	乳剤	PCP リニユロン	73% 5%	日本カーバイド
	CNP	水和剤	CNP	20%	三井東圧化学
8)-2. 小豆	R-7465	水和剤	(畑作一般の項参照)	50%	トーマン ストウファー
	IPC・ アラクロール	混用	CI-IPC乳 アラクロール乳	45.8% 43%	ラッソー普及会 (三菱モンサント)
	IPC・ DNBPA	水和剤	CI-IPC DNBPA		石原産業
	G-315	水和剤	(陸稲の項参照)	50%	日産化学
	TOP-25	乳剤	NIP DNBP	25% 12%	三洋貿易 東京有機化学
	PCP・リニユロン	水和剤	PCP リニユロン	73% 5%	日本カーバイド
8)-3. 菜豆	R-7465	水和剤	(畑作一般の項参照)	50%	トーマン ストウファー
	WL19805	水和剤	アミノトリアジン系	50%	シェル化学
	IPC・ アラクロール	混用	CI-IPC乳 アラクロール乳	45.8% 43%	ラッソー普及会 (三菱モンサント)
	IPC・DNBPA	水和剤	CI-IPC DNBPA		石原産業
	B-3015・ プロメトリン	乳剤	ベンチオカーブ プロメトリン	50% 5%	クミアイ化学 日本化薬
	アラクロール	乳剤	2-クロル-2', 6'-ジエチル-N-(メ トキシメチル)-アセトアニリド	43%	ラッソー普及会 (三菱モンサント)
	TOP-25	乳剤	NIP DNBP	25% 12%	三洋貿易 東京有機化学
	C-6313	水和剤	(落花生の項参照)	50%	チバ製品
	C-6989	乳剤	(同上)	30%	同上
9) さとうきび	R-7465	水和剤	(畑作一般の項参照)	50%	トーマン ストウファー
	パーナレート	粒剤	n-プロピル-N, N-ジプロピルチオカ ーバメート	5%	パーナム普及会 (トーマン)

B マルチ除草剤

対象作物	薬剤名	剤型	有効成分名および含有率	委託会社
1) 甘藷 マルチ	N I P	乳剤	N I P 25%	スタム・ニップ 普及会 (三洋, 東京有機)
	N I P	微粒剤	N I P 5%	同上
2) 落花生	N I P	乳剤	N I P 25%	スタム・ニップ 普及会
	N I P	微粒剤	N I P 5%	同上
	PCP・リニユロン	水和剤	PCP 73% リニユロン 5%	日本カーバイド
3) さとうきび	クレタジン	水和剤	3-(2-メチルフエノキシ)ピリタジン 50%	三共
	サツソーシートP (プロメトリン)		(プロメトリン) 8,10,12g/a	三菱油化 日本薬 みかど化工

C 転換畑用除草剤

対象作物	薬剤名	剤型	有効成分名および含有率	委託会社
1) 落花生	N I P	乳剤	2,4-ジクロロフェニル-4-ニトロフェニルエーテル 25%	三洋貿易 東京有機化学
2) 大豆	C N P	乳剤	2,4,6-トリクロロフェニル-4-ニトロフェニルエーテル 20%	三井東洋化学
	N I P	乳剤	(落花生の項参照) 25%	三洋貿易 東京有機化学
	トリフルラリン	乳剤	α, α, α -トリフルオール-2,6-ジニトロ-N,N-ジプロピルパラートリジン 44.5%	塩野義製薬
	M C C	水和剤	メチル-N-(3,4-ジクロロフェニル)カーバメート 40%	スエップ普及会 (日産, 日農, 北興)
	B-3015・ プロメトリン	水和剤	ベンチオカーブ 50% プロメトリン 5%	クミアイ化学工業 日本薬

< 3 表 > 昭和46年度畑作関係除草剤実用化判定表

A 除草剤

区分	実用化	実・継	継続	継?	中止
1) 陸 稲	X-52 水和 B-3015・ プロメトリン 乳	G-315 水和	NK-14636 水和 NK-15266 乳		
2) とうもろこし		S-6115 乳	NK-14636 水和 NK-15266 乳 B-3015・ プロメトリン 乳 SKH-01 (WL-19805)水和 VCS-438 水和 SLD-695 水和 EPTC 粒		サイプロミッド 乳

区 分	実 用 化	実 継	継 続	継 ？	中 止
3) 甘 藷		MB-206 粒			X-5 2 水和
4) 馬 鈴 薯	MCC 水和 MCC 粒 (適 B)	アメトリン 乳	SKH-01 (WL-19805) 水和 VCS-438 水和 SLD-695 水和 IPC・MCP 水和 MCP・ デンコーン 混用		
5) て ん さ い	レラシル 水和 (移植・直播)		SLD-695 水和 (移 植) IPC・ アラクロール 混用 (直播・移植)		ASULAM 液 (移 植)
6) 落 花 生		MB-206 粒 C-6313 水和	NK-14636 水和 NK-15266 乳剤 G-315 水和 SKH-01 (WL-19805) 水和 MK-616 水和 C-6989 乳 H-2901 乳 アミプロホス 乳		X-5 2 水和
7) 大 豆	SLD-695 水和	B-3015・ プロメトリン 乳 C-6313 水和	NK-14636 水和 NK-15266 乳 S-6115 乳 MK-616 水和 C-6989 乳 TOP-25 乳		
8) 小 豆			G-315 水和 TOP-25 乳		
9) 菜 豆	C-6313 水和 アラクロール 乳	B-3015・ プロメトリン 乳	MK-616 水和 C-6989 乳 TOP-25 乳		
10) ホ ッ プ	MCC 水和		MCC 粒		
11) さ と う き び	バーナレート 粒		R-7465 水和		

B マルチ除草剤

区 分	実 用 化	実 ・ 継	継 続	継 ？	中 止
1) 甘 藷			NIP 乳 畑作用NIP 粒		
2) 落 花 生	PCP・リニロン 水和	NIP 乳	畑作用NIP 粒		
3) さ と う き び	バーナレート 粒	サッソーシート P	クレーダシン 水和		

C 転換畑用除草剤

区 分	実 用 化	実 ・ 継	継 続	継 ？	中 止
1) とうもろこし			アトラジン 水和 プロメトリン 水和 C N P 乳		
2) 落 花 生		N I P 乳	トリフルラリン 乳 C A T 水和		
3) 大 豆		C N P 乳 N I P 乳 トリフルラリン 乳 M C C 水和 B-3015・ プロメトリン水和	プロメトリン 水和 PCP・ リニユロン 水和 リニユロン 水和 トリフルラリン 粒 (枚豆マルチ)		
4) 小 豆			PCP・ リニユロン 水和		
5) ソ ル ゴ ー			アトラジン 水和		

＜第 4 表＞ 昭和 4 6 年度畑作関係除草剤実用化薬剤使用基準

A 除 草 剤

	薬 剤 名	剤型	処理法	処理時期	使 用 量 (製品g/a)	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
陸 稲	B-3015・ プロメトリン	乳	土 壌	播 種 後	60～80	全 土 壌	寒地を除く全域	
	X-52	水和	土 壌	播 種 後	75～100	火 山 灰 土	温暖地・暖地	
	G-315	水和	土 壌	播 種 後	10～14	火 山 灰 土	寒地を除く全域	
と う も ろ こ し	S-6115	乳	土 壌	播 種 後	寒 地65～100 寒冷地・温暖地 65～80	全 土 壌	温 暖 地 以 北	高温時はさける
			混 和	播 種 前	65～100	〃	寒 地	
			茎 葉	4～5葉期	40～65	〃	寒 地	
甘藷	MB-206	粒	土 壌	植 付 後	500～600	火 山 灰 土	温 暖 地	
馬 鈴 薯	M C C	水和	土 壌	植 付 後	100～125	全 土 壌	温 暖 地 以 北	(春馬鈴薯)
	M C C	粒	土 壌	植 付 後	400～500	全 土 壌	全 域	(適 B)
	アメトリン	乳	土壌兼雑草	萌 芽 前	75～100	全 土 壌	寒 冷 地	
て ん さい	レ ナ シル (直 播)	水和	混 和	播 種 前	10～12	全 土 壌	寒 地	混和深2～3cm
	レ ナ シル (移 植)	水和	混 和	移 植 前	10～12	全 土 壌	寒 地	
落 花 生	MB-206	粒	土 壌	播 種 後	500～600	火 山 灰 土	温 暖 地	
	C-6313	水和	土 壌	播 種 後	20	火 山 灰 土	温 暖 地	

	薬 剤 名	剤型	処理法	処理時期	使 用 量 (製品g/a)	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
大豆	B-3015・ プロメトリン	乳	土 壌	播 種 後	寒 地 80~100 寒冷地・温暖地 60~ 80	全 土 壌	温 暖 地 以 北	
	S.L.D-695	水和	土 壌	播 種 後	寒 地 20~ 30 その他 30~ 40	全 土 壌	寒地・寒冷地・ 温暖地・東部中 高冷地	
	C-6313	水和	土 壌	播 種 後	寒 地 20~ 30 寒冷地 20	全 土 壌	寒 地 ・ 寒 冷 地	
菜豆	B-3015・ プロメトリン	乳	土 壌	播 種 後	8 0	沖積除く全土壌	寒 地	
	C-6313	水和	土 壌	播 種 後	2 0 ~ 3 0	全 土 壌	寒 地	
	アラクロール	乳	土 壌	播 種 後	2 3 ~ 4 6	全 土 壌	寒 地	イネ科雑草の多い 場合は少なく、広 葉雑草の多い場合 は多く
ホップ	M C C	水和	土 壌	培 土 後	1 2 5	全 土 壌	寒 冷 地	
さとうきび	バーナレート	粒	混 和	培土時・ 春植え時	5 0 0 ~ 6 0 0	全 土 壌	暖 地	

B マルチ除草剤

	薬 剤 名	剤型	処理法	処理時期	使 用 量 (製品g/a)	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
落花生	N I P	乳	土 壌	マ ル チ 前	8 0 ~ 1 2 0	全 土 壌	寒冷地・温暖地	
	PCP・リニクロン	水和	土 壌	マ ル チ 前	7 5 ~ 1 0 0	火 山 灰 土	寒 冷 地	
さとうきび	バーナレート	粒	混 和	マ ル チ 前	3 0 0	全 土 壌	暖 地	
			土 壌	マ ル チ 前	4 0 0 ~ 5 0 0	〃	〃	
	ザッソーント P		マルチング	植付後・2 ~ 3 月の株 出し	(成分 1 2)	全 土 壌	暖 地	土壌はなるべく砕 土し、土面に密着 させる

C 転換畑用除草剤

	薬 剤 名	剤型	処理法	処理時期	使 用 量 (製品g/a)	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
落花生	N I P	乳	土 壌	播 種 後	1 0 0 ~ 1 2 0	全 土 壌	温 暖 地 東 部	
大豆	C N P	乳	土 壌	播 種 後	1 2 5 ~ 1 5 0	全 土 壌	寒 冷 地	
	N I P	乳	土 壌	播 種 後	1 0 0 ~ 1 2 0	全 土 壌	寒地を除く全域	
	トリフルラリン	乳	土 壌	播 種 後	2 2 ~ 3 3	全 土 壌	全 域	イネ科優占圃対象
	M C C	水和	土 壌	播 種 後	1 0 0 ~ 1 2 5	沖積壤土~埴土	寒冷地~温暖地東部	
豆	B-3015・ プロメトリン	水和	土 壌	播 種 後	6 0 ~ 8 0	沖積壤土~埴土	寒地を除く全域	